

大野町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で猛暑や豪雨など地球温暖化が要因とみられる大規模災害が多発しており、今後も干ばつや海面上昇、農業生産や水資源への影響など、もはや「気候危機」と言うべき深刻な状況にあります。我が国においても例外ではなく、これまでに経験したことのない豪雨や台風等により甚大な被害が発生しております。

こうした状況を踏まえ、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では「気温上昇幅を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに、CO₂（二酸化炭素）の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

大野町では、「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」という将来像を掲げており、豊かな自然環境の維持と経済が調和し、町民が快適に、また安心して住むことができる環境を次世代に引き継ぐため、町民、事業者、行政が一体となり、地球温暖化防止対策を積極的に推進し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを、ここに宣言します。

令和3年12月7日

大野町長

宇佐美 晃三

